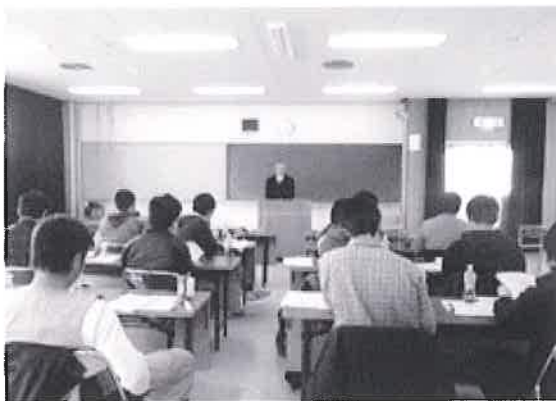


2011年5月18日

# 安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097  
 ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap~awa/index.html>  
 発行:安房農業事務所地域振興部改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会

▶ 研修会の風景



## 研修の主な内容

- ・ 農業・生活に関する基礎知識
- ・ 地域農業の理解
- ・ 経営分析・経営計画
- ・ プロジェクト活動（個別在宅学習）
- ・ 仲間づくり

## 「農業経営体育成セミナー」に参加しませんか？

千葉県では新しく農業に就いた35歳までの青年農業者を重点的に支援するため、農業経営体育成セミナー（以下セミナー）を開催しています。

専門的な技術については、所属生産組合や家族から学ぶ方が多いのですが、近年は農業関係以外の学校を卒業された方も多く、技術や知識についてサポートが必要です。また、青年農業者は人数が少なく点在し、孤立感を覚えることもあります。

### ◎セミナーの内容

毎月1回程度の研修会を行っています。研修方法は次のとおりです。①普及指導員や各分野の専門家の講義に参加②受講者同士や地域内外の優良事例の視察③県内で開催される様々な研修会に参加④経営内容に合わせた担当普及員による個別在宅学習などを行う

います。

参加者の経営品目は問いませんので、様々な分野の農業者と知り合いになり、幅広い考え方に触れ、将来、分野を超えた業務提携にもつながることもあります。セミナーを通じて知り合い、親しくなった受講者とは、お互い励まし合い、刺激し合うことで、今後の経営に大きな力になることとでしよう。

### ◎申し込み方法

安房地域内で活躍されている多くの先輩農業者も受講されています。

開講は5月20日で、受講者を現在も募集中です。対象は安房地域在住の方でおおむね35歳までの農業者。お問い合わせ、お申し込みは、安房農業事務所改良普及課までお気軽にどうぞ。

## 栽培が広がる スナップエンドウ

安房地域全域で栽培を推進しているスナップエンドウですが、市場出荷を行っている安房スナップエンドウ組合は、館山市、鴨川市、南房総市の3市にまたがり、現在20戸が生産に取り組んでいます。今回は、スナップエンドウの栽培が広がった経緯等をお伝えします。

### ◎栽培拡大の経緯

スナップエンドウは近年消費者の人气が高まっている野菜で、市場から生産を要望されていきました。また、耐寒性が強く、最低温度が3℃以上であれば暖房が必要ないため、暖房用燃料の高騰に悩む方の転換品目として注目されました。

このような中、平成19年より鴨川市で本格的な栽培が始まりました。出荷については

市場、直売所とも良い結果が得られ、栽培された方が積極的に周囲に栽培を勧めたこともあり、平成20年には南房総市、平成21年には館山市でも栽培がスタートしました。

出荷先市場からは増産を要望されており、今後も安房地域全域で栽培を推進していきます。この記事を読んでスナップエンドウ栽培に興味を持った方は、安房農業事務所改良普及課へお問い合わせください。



▶ほ場のスナップエンドウ

## 花き類の土壤消毒

### 1 花き類の土壤病害虫

花き類の土壤病害虫は、ストック・草花類の萎凋病や立枯病、カーネーションやキンギョソウのネコブセンチュウ等があります。防除対策は改植時に土壤消毒等を行います。比較的安いで作業性がよく、労力負担が少ない薬剤として、クロルピクリン錠剤が注目されています。

### 2 クロルピクリン錠剤

本錠剤は花き類・観葉植物の萎凋病、カーネーションの萎凋病、立枯病、センチュウ類、さくらの萎凋病、白絹病、立枯病、半身萎凋病、センチュウ類に適用があります（平成23年4月25日現在）。

萎凋病の土壤くん蒸法は次のとおりです。

①処理前に作物残渣を取り除き、十分に耕起・整地を行

ます。

②1平方メートル当り10錠をほ場表面に散布処理し、ロータリーで1回土に混和し、速やかに被覆します。難透過性フィルム（PO系）のバリアスターを使用するとより効果的です。

③錠剤を包んでいる水溶性フィルムは土壤水分により3～6時間で含水して溶解状態となり、ガスが放出されます。

④処理後10日以上経過してから被覆資材を除去し、ガス抜きを数回行います。

⑤土壤中からクロルピクリンの臭気なくなつてから播種または定植します。

御使用の際は使用上の注意事項をよく読み、安全使用に心がけて下さい。



家族経営協定

アンケートに見る締結の効果

家族経営協定とは、経営改善を目指して、家族で決める「ルール」のことです。締結すると、認定農業者、農業者年金、制度資金等の支援策を受けられるメリットがあります。

この取組みが始まって15年、効果を確認するため各振興センター（現農業事務所）が連携し、県下98戸の農家に協力を得てアンケートを実施しました。ここに結果を集約しましたので報告します。

協定は、経営改善に、

Q 効果あり or ない？

A 半数以上（58%）の経営者が、「効果があった」と回答。一方、「効果がない・分からない」と回答があった経営者は22%でした。

Q 効果はどこにある？

A 「やる気を持った経営参画」、「後継者の育成」に多くの回答がありました。

Q 効果がないのはなぜ？

A 「締結内容の意識がない」、「生活面での安定が先決」等の意見がありました。

まとめ

アンケートから、「家族の能力発揮」や「後継者の育成」等、経営の根幹に係る部分で締結による効果が確認できました。効果が見られた農家では、経営主が一人で運営する経営から、家族が一つの組織として営む経営の方向に変化していることが読みとれました。

共通の目標や将来の展望を共に描き、それらを実現するために効果的な手段である「家族経営協定」を皆さんも御検討ください。

【参考】管内では75戸の農家で、家族経営協定が締結されています。（全県1173戸H23・3月現在）

酪農家と民間会社が連携

TMRセンターの取り組み

平成21年4月より南房総市和田町の酪農家5戸と県内に支店のある飼料会社、流通を担う地元運送会社、共済獣医師らの協力を得てTMRセンター（\*）が稼動し2年が経過しました。

① センターの利用者

現在では、利用者も生産量も増加し利用酪農家13戸（搾乳牛約450頭）、日量約13tのTMRが毎日生産され酪農家に配達して利用されています。

② TMRセンターの運営

TMRの製造、配達と飼料の受発注などは運送会社が担当し、TMRの代金決済は酪農協が担当し、飼料設計は共済の獣医師が担当しています。

発酵飼料や自家配の製造受託は、県内での酪農協や飼料会社でも見られますが、毎日フレッシュ供給するTMRセンターの稼動は県内では初めての取り組みです。

③ 利用者の声

TMRセンターを利用する酪農家は、飼料管理についての労力軽減ができ、TMRになり飼料ロスや乳牛の疾病が減少したという声が聞かれ、酪農家の労働環境の改善に大きく貢献しています。

南房総市和田町の酪農家は、更なる軽労働化のための取り組みとして自給飼料生産の受託組織の運営にも取り組み始めています。

\*TMRセンター  
牛の飼料である、穀類と粗飼料がバランスよく配合された混合飼料を製造して農家に直接供給する組織。



専用車で給与している様子



安房地域の

若手農業者を紹介 4

今回は農業経営体育成セミナーに参加し、南房総市白浜町で、無農薬・無化学肥料で露地野菜を栽培している堀尾勝さん(28)を紹介します。

堀尾さんは横浜市で大学卒業までの22年間を過ごし、その後宮崎県で無農薬・無化学肥料栽培の実践者のもとで、3年間研修しました。そして、研修中に現在の南房総市白浜町のは場を見つけ、農地の取得、農業機械の購入などの資金問題を乗り越え平成21年4月に新規参入しました。

就農1年目は重粘質土で作業性や排水条件が悪く研修先とは異なる土地条件に苦労しました。2年目となる昨年は地域の生産者からアドバイスをもらい、初穀などの有機質資材の投入による土壌改良や

暗渠の設置による排水対策を実践し、8品目の栽培を成功させることができました。さらに、地元の横浜市での野菜セットの個人宅配を目指してサンプル販売を行い、60戸以上の顧客を確保し、販路を開拓しています。今年は今時3品目以上の宅配を目標に、約30品目の栽培と販路の拡大を目指しています。

農業事務所改良普及課では

セミナーを通じて、堀尾さんのこれからの活躍を応援していきます。



堀尾 勝さん

お知らせ

安房農業事務所に名称変更(旧安房農林振興センター)

安房農林振興センターは、平成23年度から組織改正に伴い、安房農業事務所に変更となりました(住所、電話番号は変更なしです)。

食用ナバナチャレンジセミナーを開催します

食用ナバナの新規栽培希望者等を対象に、セミナーを開催します。定年帰農者や栽培経験の短い方、将来ナバナ栽培を行いたいと考えている方等を対象として開催する予定です。

管内の実践者等を講師に、ほ場検討会や出荷調製方法等についての実習も行います。興味のある方は、担当(宮原)までご連絡下さい。

Part3 安房地域いきいきフォーラムを開催

2月18日に182名の参加者を

迎え、千葉県農山漁村いきいきアドバイザー企画のフォーラムを開催しました。講演は市原ぞうの国の坂本小百合園長の半生と象にかける熱い思いに会場一同涙しました。そして、安房地区千葉県農業士協会会長理事の安西淳氏・森の自然工夫塾の杉山茂嘉・敏子夫妻の事例発表で盛り上がりました。

県農産物の放射能モニタリング調査結果について



県HP 下記アドレスで調査結果を公表しています。  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/annou/h23touhoku/index.html>